

第78回 横浜市公立大学法人評価委員会会議要録	
日時	平成30年8月22日（水）14時00分～16時00分
開催場所	関内中央ビル 10階大会議室
出席委員	工藤委員長、蟻川委員、有賀委員、大久保委員、岡本委員
欠席委員	なし
法人	理事長、事務局長ほか
事務局	海道大学担当理事、森田大学調整課長、井上大学調整課担当係長 ほか
開催形態	公開（傍聴者 0名）
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 第77回横浜市公立大学法人評価委員会会議要録（案）について 2 平成29年度公立大学法人横浜市立大学の業務の実績に関する評価結果(原案)について 3 (仮称)データサイエンス研究科について 4 その他
決定事項	
議事	<p>主要な発言は、以下のとおり。 <u>(○：委員発言、△：法人・事務局発言)</u></p> <p>※議題1について<資料1> 特に意見なし</p> <p>※議題2について<資料2・3・4></p> <p><資料2></p> <p>○「Ⅰ-1教育に関する取組」と「Ⅱ 地域貢献に関する取組」についてS評価とした。教育については、データサイエンス学部の創設は高く評価したい。他の委員でもS評価を点けた方もいるようなので、評価委員会の評価として、原案通り「A」とするのか、この場で改めて検討してもいいと思う。地域貢献においても、年度目標を大きく上回って達成しているものも多い。地域と連携した取組も活発に行っており、公立大学としてこれだけ地域に貢献しているということを本委員会でも高く評価することでアピールしてもいいと思う。</p> <p>○地域貢献について、大学の自己評価は「A」としている。その考え方はどうか。</p> <p>△ボランティアに関する取組はスタッフの頑張りもあり、十分に取り組むことができたと考えている。一方、市との連携については、新規分だけでなく、これまで継続して取り組んできたことも実績として計上しており、総合的にみて「A評価」が妥当と考えた。</p> <p>○連携して研究活動等もされており、自己評価にあたり遠慮する必要もないと思う。</p> <p>○本委員会のルールでは、S評価は、達成の難易度が高い計画を順調に達成していることや、年度計画を上回って達成している場合としており、年度計画を順調に達成しているだけであるなら、A評価とすることになる。今回、S評価とするなら、過年度の取組評価と、来年度以降の取組評価が一貫した連続性のある評価になり得るか考えなければならない。達成容易な取組を計画し、順調に取り組むことができたから、S評価になるということは筋が通らない。</p> <p>○教育も地域貢献もやるべきことが継続されて取り組むことができ、初めて本来の目的や目標が達成できるという性質がある分野だと思うので、単発的に評価するのではなく、評価できる取組が継続し、6年後に中期計画全体の評価としてSとする、といった考え方もできると思う。数値目標もいろいろ設定されている中で、計画通りに達成できたというA評価はそれでも十分素晴らしい評価といえる。</p>

○評価の一貫性という点でいえば、毎年度A評価が続き、中期計画全体の評価がS評価となると、連続性がない評価にみえる側面もある。数値目標の達成具合、更にはそれに対するプロセスや姿勢をみても十分S評価の水準に達しているといえる。評価できることは、遠慮せずに評価するという形を取ってもいいのではないか。

○それぞれの分野によって性質が違っても関わらず、水準を統一して平面的に評価することはそもそも難しい作業だと思う。横浜市立大学は公立大学である以上、地域貢献をすることは本来目的そのものでもあるし、それと教育に関する取組とを全く同じ視点で評価することが適切なのか考えなければならない。全体としては十分な取組がされていると思う。ただ、市大が大きく求められているテーマについて、鋭意努力し目標を達成した場合にS評価とするとしてもいいと思う。

○Aは標準や順調、Bはやや難あり、Cは大いに難あり、Sは素晴らしいのイメージだと思う。数値目標を達成したときに、順調と捉えるのか、110%超えたら素晴らしいと捉えるのか、主観的な部分に影響される部分が大きいが、S評価を出し惜しみする必要はないと思う。地域貢献については評価は難しいが、Aプラス水準という意味で、A評価でまとめる形だろうか。

○S評価が馴染まないということを言っている訳ではないが、計画そのものの妥当性や、次年度以降、評価水準のハードルが事実上、上がってしまう側面があることを考慮したほうがいい。地域貢献については、見方によってはこれでもまだ足りないといえる性質のものであるので、A評価でも十分評価できる水準と言っている。

○S評価をつけたとしても、必ずしも、次年度以降の評価水準のハードルを上げることはならないと思う。6年間の中期計画期間の中でバランスを取って考えていく話であると思うが、大方A評価であることを踏まえ、A評価としても問題はないと思う。

○続いて、教育に関する取組についてであるが、私の印象としては十分取り組んでいると感じている。大項目としてはAでもよいが、小項目の部分はS評価も複数いることから、メールを送る趣旨も踏まえ、S評価としたらどうか。

○過去に、目標通りに実行できた状態をどう評価するべきなのかという議論の中で、従来のA評価と現在のS評価が同レベルになるイメージで、新たにS評価を設けたと記憶している。そういう意味で、S評価に至るにはそれなりの水準が求められる分野もあり、安易にS評価とすることは、当初の制度趣旨に合わないと感じる。

○現在の評価ルールでは、Sは際立ってよくやったのではなく、計画を上回って達成しているとなっているので、標準以上によくやっているのであれば、Sとしてもいいと思う。教育の小項目の部分については、A++と趣旨で、Sでどうか。

○淡々と標準的な取組であれば、Aとなるが、それ以上によくやっているのであれば、S評価を出し惜しみする必要はないと思う。

○S評価を出し惜しみしている訳ではない。項目によって、求められる水準が異なってくることを認識しなければならないと思う。

○従来のAは今のSとAの混合ぐらいのイメージではないか。学部の新設というのは、非常に難易度が高い計画であったといえる。そういう意味でSは妥当だと思う

○必ずしも委員会評価と法人の自己評価は連動する必要はないと考えているが、法人の自己評価はAとしている。その自己評価の過程の中で、これだけ難易度が高い計画をやり遂げたと言える部分を我々委員が感じるができるなら、S評価としてもいいと思う。

○・教育分野は評価しにくい側面があるので、自己評価としては厳しめにされていたとしても、学外の委員である我々が、他大学と比較して努力している姿勢がみえると判断できるならば、評価を変えても何らおかしいことはないと思う。

・いろいろ議論があるところであるが、地域貢献は事務局案通りにAとし、教育の小項目についてはSとする、大項目についてはAのままとすることでどうか。

・「IV-5 医療安全・病院運営」について議論したい。医療事故があったことを踏まえ、Bにしたほうがよいのか、それとも、事故が起きたことのみを対象にするのではなく、事後の対応等を総合的に判断し、評価書の中でその辺りの課題を明示したうえで、Aにするという選択肢もあり得る。

○前回の議論でもあったが、医療事故があったと事実がある中で、外部目線でいえば、A評価はつけづらい。そういう意味でB評価とした。

○ここは医療安全を担保する取組がしっかりなされているかというプロセスを評価する項目として捉えているため、今回の医療事故が発生してしまったという結果をこの項目の評価対象としなかった。医療事故の結果責任はコンプライアンス事案と合わせて、V 法人の経営で評価した。

○医療事故の事後対応、それを防ぐための事前の対応など、様々取り組んできた経緯は評価している。一方で、過去に医療事故が発生したときに、マスコミにも取り上げられている中で、Aとすることは一般的に理解が得られないのではないかと、事故が起きたことを重く受け止め、医療安全の項目でB評価とすべき、といった議論があったと記憶している。このあたりを総合的に考え、今回B評価とした。

○私も以前、同様の趣旨の発言をしている。どの項目で評価するのかということは大事なポイントである。重く受け止めるべき項目であるならば、法人経営の中で評価すべきだと考えた。

従って、V-1の業務運営の改善のB評価の中でみている。

○医療事故についての課題を明示したうえで、病院運営自体はしっかり取り組むことができたとしてA評価にすることもできる。この項目で事故が起きたという結果のみに着目するのは酷といえるかもしれない。

○医療事故、附属2病院の財務改善は全てVの法人の経営で評価する項目と捉えている。

○これまでの議論を踏まえると、IV-5はAにして、評価書の中で課題や留意点を書き込む整理もあると思う。

○評価書にコメントを記載する際は、AやBといった評価だけが独り歩きし、誤解を招くことがないように、これまで議論されてきた趣旨を簡潔にわかるように書き込んでほしい。

○民間の世界でいえば、結果責任は役員が背負うことが通常である。事故といった事案は「経営」で捉えるものだと思う。現場での日々の連続性のある取組やプロセスはしっかり評価してあげたほうがいい。

○そういう意味ではIV-5 医療安全を図る、病院を健全に運営する取組としては標準的といえる。

○・これまでの議論を通して、IV-5はAとしたい。

・続いて、Vの大項目は評価が分かれている。平均するとA評価となるかと思う。

○先ほどの議論の中で申し上げた通り、コンプライアンス、医療事故はこの項目で重く受け止め、B評価とした。このような見方をする人も世の中には少なくないと思う。

	<p>○・それではVの大項目はAとする。 ・V-2の財務内容についてはSとAで分かれているが、Sが多数となっており、かなり努力した結果であることは評価すべきという観点で、Sとする。</p> <p><資料4> ○P9の「1 医療分野・医療提供等に関する取組」における「稼働契約やDPCデータ～」の部分は「5 医療安全・病院運営に関する取組」の要素が強いので、そちらに移動してほしい。</p> <p>○「5 医療安全・病院運営に関する取組」に記載されている、医療事故に係る記載については、もっと簡潔にまとめてもいい。</p> <p>○「V 法人の経営に関する目標」の導入の部分で、大項目としてはA評価となっているが、留意点のみが記載されており、構成上、バランスが悪いように思う。そもそも、他の項目にはこのような特記事項のような記載がない。</p> <p>○P11の災害対応の部分について、防災訓練は行っているようだが、今後の課題として、防火区画の形成や籠城避難の視点を導入することで、更に訓練の質の向上も期待できると思う。</p> <p>○P6について、文末が「抜本的な改善を図りたい」となっているが、前向きな内容で文章を締めたほうがいいのではないか。</p> <p>△各委員のご意見を踏まえ、評価書の修正を進め、委員長のご了解をもって確定としたい。</p> <p>※議題3について<資料5・資料6> 特に意見なし</p> <p>※その他について(横浜市立大学 90周年式典) 特に意見なし</p> <p>【事務局】 ・次回のスケジュール等、連絡事項の説明。</p>
<p>資 料 ・ 特記事項</p>	<p>〔配付資料〕 資料1 第77回 横浜市公立大学法人評価委員会会議要録(案) 資料2 公立大学法人横浜市立大学の平成29年度の計画に対する各委員評価一覧 資料3 評価結果(素案)に対する各委員の意見等 資料4 平成29年度 公立大学法人横浜市立大学の業務の実績に関する評価結果(原案) 資料5 (仮称) データサイエンス研究科 概要(案) 資料6 横浜市立大学創立90周年記念式典の開催概要</p> <p>〔参 考〕 公立大学法人横浜市立大学関係資料</p>